

# 【テーマ1】 行財政改革に貢献する監査

**めざす方向** 本府の行財政改革に貢献する効果的かつ効率的な監査をめざします。

行財政改革に貢献する監査		
<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p><b>■リスクアプローチによる効率的・効果的な監査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本府の事務事業について、内在する課題や将来リスクなどを洗い出し、リスクが顕在化する可能性や顕在化した場合の影響の大きさなどを踏まえて監査を実施します。</li> </ul> <p><b>■効率的・効果的な合規性監査の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会計局による内部統制の充実を踏まえた効率的・効果的な監査を実施します。</li> </ul> <p><b>■経済性・効率性・有効性（3E）の観点からの監査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最少の経費で最大の効果をもたらす行政運営の視点に立ち、効果に照らして過大な経費を要している事務事業が存在しないか、事務事業の本来の目的・必要性が失われていないかなど、3Eの観点からの監査を実施します。</li> </ul> <p><b>■新公会計制度に係る監査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財務諸表の所期の目的である府民への説明責任、部局マネジメントへの活用を適正に果たすには、財務諸表が正確に作成されることが必要であることから、財務諸表の正確さの徹底を促す監査を実施します。</li> </ul> <p><b>（スケジュール）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上半期（本庁等）：6～8月</li> <li>下半期（出先機関、財政的援助団体等）：10月～2月</li> </ul>	<p><b>◇活動指標（アウトプット）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監査の実施に先立ち、本府の事務事業についてのリスク評価を実施し、重要なリスクを含む分野を監査の対象に選び、主な想定リスク（項目、着眼点）等を明確にした「監査計画」を作成します。</li> <li>財務事務に係る合規性監査については、リスクの評価を踏まえて重点項目テーマを設定するとともに、会計局による会計実地検査を活用し、効率的・効果的な監査を実施します。</li> <li>3Eの観点からの監査を充実させ、対象事務事業に課題が認められた場合には、受検機関と課題解決のための建設的な議論を充分に行い、将来の改善を促します。</li> <li>監査法人の専門性を活かし、新公会計に係る事務および財務諸表の正確性について確認し、新公会計事務の改善強化を促します。</li> </ul> <p><b>◇成果指標（アウトカム）</b></p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リスクを踏まえた効果的かつ効率的な監査を通じて、無駄のない合理的な行財政運営を促します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上半期の監査の実施に先立ち、リスク評価を行い、主な想定リスク（項目、着眼点）等の30項目を盛り込んだ「監査計画」を作成しました。</li> <li>また、下半期においても同様に主な想定リスク（項目、着眼点）等の19項目を盛り込んだ「監査計画」を作成しました。</li> <li>○財務事務に係る合規制監査については、「公有財産等の登録及び管理の状況について」を重点項目のテーマに設定して監査を実施するとともに、会計局による会計実地検査を活用し、効率的かつ効果的な監査を実施しました。</li> <li>○3Eの観点に厚く監査資源を配分し、受検機関との建設的な議論を通じて、将来リスクの軽減につながる効果的な改善策の提言に努めました。</li> <li>○新公会計制度に係る監査については、監査法人に委託し、会計処理の正確性等について監査を行いました。</li> <li>また、平成28年度の一般会計及び特別会計の決算について、審査の参考とした財務諸表に対し、「新公会計制度による財務諸表に関する監査委員の報告書」を作成しました。</li> </ul> <p>（定性的な目標に対する進捗状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リスクアプローチ手法を進化させ、重要なリスクを含む分野を効果的・効率的に監査することにより、合理的な行財政運営に貢献しました。</li> </ul>

	<p>(数値目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期監査において、上半期に本庁全部局、下半期に全出先機関、財政的援助団体等 25 団体の監査を実施します。</li> </ul>	<p>(数値目標に対する進捗状況)</p> <p>○上半期に本庁全部局の監査を実施し、下半期に全出先機関、財政的援助団体等25団体の監査を実施しました。その結果、平成29年度は、施策事業27件、事務処理112件の監査結果を公表しました。</p>
--	---	--

**【部局長コメント（総評）】**

自己評価



達成

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当初の目標を達成することができました。</li> <li>・ 監査計画に基づいた効果的かつ効率的な監査を推進するとともに、新公会計制度の適正化につながるよう財務諸表の正確性の観点から監査を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ リスクアプローチの手法を一層進化させ、行財政改革に貢献する監査を目指します。</li> </ul>